

## 市民の願いが届く 市政の実現を！

**補聴器の購入に公的補助  
は市民の切実な願い**

「日本補聴器工業会」の調査では

74歳以上では44%が難聴または難聴気味とのことです。この割合は

日本だけが突出しているわけでは

ありません。しかし、補聴器の使用

は日本でわずか14%。イギリスで

41%、アメリカで25%です。欧米

諸国の多くの国で医療の問題とし

て公的補助が行われているといっ

た制度の違いもあります。日本で

は身障者手帳を所持する重度・高度

の難聴者は補装具として、一割負担

(上限あり)で済みますが、中度・

軽度の難聴者は、福祉の支援はあり

ません。片耳平均15万円もする補

聴器は高すぎて購入できないとい

う声が上がっています。

国会でもこの

問題が取り上げ



奈良県では奈良市や大和高田市など6市町です。また独自で助成を行っている自治体も出てきています。

**国への意見書が市議会  
でなんと否決！**

中井議員が提案した意見書(国に

補聴器購入の公的補助制度の創設

を求める意見書)は、川田議長から

データの出典が不明との意見が出

され、採決では中山議員が「検査と

か予防策が先ではないか」との反対

意見が出されました。賛否の結果、

賛成5、反対10で否決されました。

反対した議員は中山(公明)河杉(公明)

上田井(公明)下村(自民)芦高(自民)

木下(自民)中谷(維新)清川(維新)小

西(無)真鍋(無)の各議員でした。

補聴器工業会のデータも国会で

取り上げられています。市民目線で

取り上げた要望を受け止めないで

否決されたことはとても残念なこ

とです。市民多数の意見を議会の多

数派で押し切ることは、

いずれ議会の形骸化に  
なり、市民のために  
なりません。



**市の助成に向けて、  
請願署名の成功を！**

現在12月議会に向けて、市民からは補聴器費用の助成を求める請願署名が取り組まれています。この市民運動を私たちも成功させるために市民とともに頑張る決意です。

### 2020年度的一般会計報告

歳入	35,579,879,000円
歳出	34,571,643,000円
繰越	143,031,000円
実質収支	865,205,000円

コロナの影響で大幅な減収が懸念されましたが、国からの補填で無事に執行できました。しかし、焼却場の件、職員の不払い残業の問題で、決算は継続審査になっています。

### 各会派に政務活動費。急いで 予算化は必要？

会派に一人月2万円(上限)の政務活動費が導入。コロナ禍のこの時期はできるだけ市民に使うべきだと考えます。

現在でも議員一人月2万5千円(上限)の政務活動費が出ています。昨年の補正予算は議員の研修費をコロナ対策に回した経過があります。

### ゴミ焼却場に関連する市の負担を王寺町 に求めることは正しいこと？

香芝市と王寺町が共同で作る焼却場が、新しく建て替えられます。令和6年8月完成予定です。焼却場は7対3の割合で香芝市と王寺町の負担が決まっています。

香芝市は地元の自治会に対して協力金を出して道路の拡幅、公民館や児童公園などの事業を行ってきました。今回、この負担の一部を王寺町に求めています。

自治体はそれぞれの住民に対して負担するのが当然で、王寺町も地元の自治会に対して協力金を出しています。こうした対応についてはこれまで香芝・王寺環境施設組合で合意してきました。これまでの信頼関係を尊重した議論が必要だと考えます。

地域住民から苦情が来ているとのことですが、私たちの耳にまで届いていません。

### 「なにより、いのち」

「自己責任」の政治よりも国民のいのちと暮らし最優先の政治が、今こそ必要です。

**お気軽に  
相談を**

仕事・  
くらしの  
悩み

# 中井まさとも

## 一般質問



ma36sa83@kcn.jp



高齢者の生活を支える  
介護施設の経営は大丈夫  
ですか。

コロナ禍で訪問介護等の利用が減り、事業所も大変になっています。また、総合事業も事業収入も少なくなっています。また、入所施設の食事代など制度が変わると聞いています。特養の待機待ちはどうなっていますか。

(答弁)

市内の事業所も気を使われていますが、今のところ撤退・閉鎖に至るところはありません。



ん。コロナ禍でやはり高齢者の状態は現状維持が悪くなることが多いです。

10月からの所得、資産要件の改正で持ち出しが増えて困る方もいると考えています。

特養に入りたくても入れない方もいます。その他に家族環境や特別な事情があると介護度が低くても入れる特別入所制度があるので紹介します。

市民が利用しやすい公共交通に  
してほしい。

コロナ禍で公共交通も利用者減、減収と聞くが市の公共交通はどうでしょうか。市民からはもっと利用しやすくしてほしいと聞きます。



活性化協議会の進み具合はどうなっていますか。また、国からの公共交通への交付金はいくらぐらいありますか。

(答弁)

老朽化したバスの新調を決めてからコースや時程の改正を図って実証運航する予定で

す。国からの特別交付税の金額は大まかにしかわかりませんが、運行費用にそれをあてますが、不足分を市が出しています。

公共交通は高齢者や市民の足であるだけでなく、高齢者の健康や市内経済循環、環境、福祉的役割があります。使いやすく便利は公共交通を指すべきです

地域猫の避妊・去勢で殺処分  
ゼロの計画を

私も地域で捨て猫の困りごとを体験しました。保健所に連れていかれる猫は、ほとんどが子猫で、すぐに殺処分されるとのこと。親猫の避妊・去勢が必要ではないでしょうか。奈良県には殺処分ゼロの計画があります。香芝市は入っていません。

(答弁)

地域猫の避妊・去勢にいろいろな意見がありますが、地域でまとまって取り組みがあれば申請の協力をします。地域の合意が必要です。



よろしく  
お願いします。

殺処分は、教育的に子ども達に教えられません。親猫を否認・去勢すれば、数年で猫を減らすことができます。発情期の鳴き声や喧嘩もなくせます。猫嫌いの人にも喜んでもらえますので、多くの地域で取り組んでもらいたいと考えています。

## いつも市民目線で、 一歩ずつ前進あるのみ！



3月の市議員選挙が終わって、まだ半年。4月臨時議会、6月議会、そして9月議会ととてもあわただしく濃厚な半年でした。

議会の中では正論を言ったつもりでも少数派で通らないことも多く、ストレスもたまりますが、逆に鍛えられました。

それにしても2議席を奪還し、日々の議員活動の中でその重みを実感しています。自分の選挙公約と市民目線で何が大きいかをいつも判断基準にしながら、発言することの大切さ、そして嬉しさを日々感じています。

国政では菅首相が政権を投げ出し、安倍・菅直系の岸田政権が誕生しました。そして自公政治に何の反省もなく、総選挙に突入します。

地方議会も国の悪政が反映します。弱肉強食、自己責任の新自由主義を終わらせて、国民のいのちと暮らしを守る政治をなんとしても作りたいと思います。いずれ私達も議会の多数派になることができるようにと願いながら、一歩ずつ着実に前進する決意です。